

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	古賀 裕子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
テ - マ : 批判的読解力と表現力を伸ばす。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
教材 : 授業で配布するプリント。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

内容：

1. パラグラフ単位での論理の組み立て方を理解し、書き手の主張のポイントをつかむ。
2. 読んだ内容に関して自分の意見をまとめ、グループディスカッションを通して論理的に表現する練習を行う。
3. 読む内容は、国内外における時事問題が中心だが、皆さんから「こんなものを読みたい」という希望も取り入れたい。

進め方：

1. 授業では、英語で意見交換ができるような会話練習を毎回行う。
2. 配布された英文を、パラグラフ・リーディング（段落ごとに論理展開法に従い要旨をまとめる）及び、誰の視点から書かれているのか、逆の視点から見るとどうか、信憑性はあるのかなど、批判的に読む。この作業は自宅での予習が前提となる。
3. 読んだ内容について、小グループでのディスカッションを行う。事前に予習として自分の意見、経験、新しく調べたことなどを英語で表現する準備が必要。
4. ディスカッションの後、自分の意見をレポートにまとめて提出する。
5. 学期の最後に授業で扱ったテーマのうち一つについて、自分の意見を英文またはプレゼンにまとめる。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価：

- (1) 予習およびディスカッション準備（ワークシート） 40%
- (2) リアクションペーパー（日本語も含む。約4回） 40%
- (3) 期末プロジェクト（英文エッセイ、またはプレゼン） 20%

### 【オフィスアワー：授業相談】

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】